



# 野畑証券研修教材 為替制度と実効為替レートの

2022年2月24日

# 最近の為替報道（日銀・BIS統計）

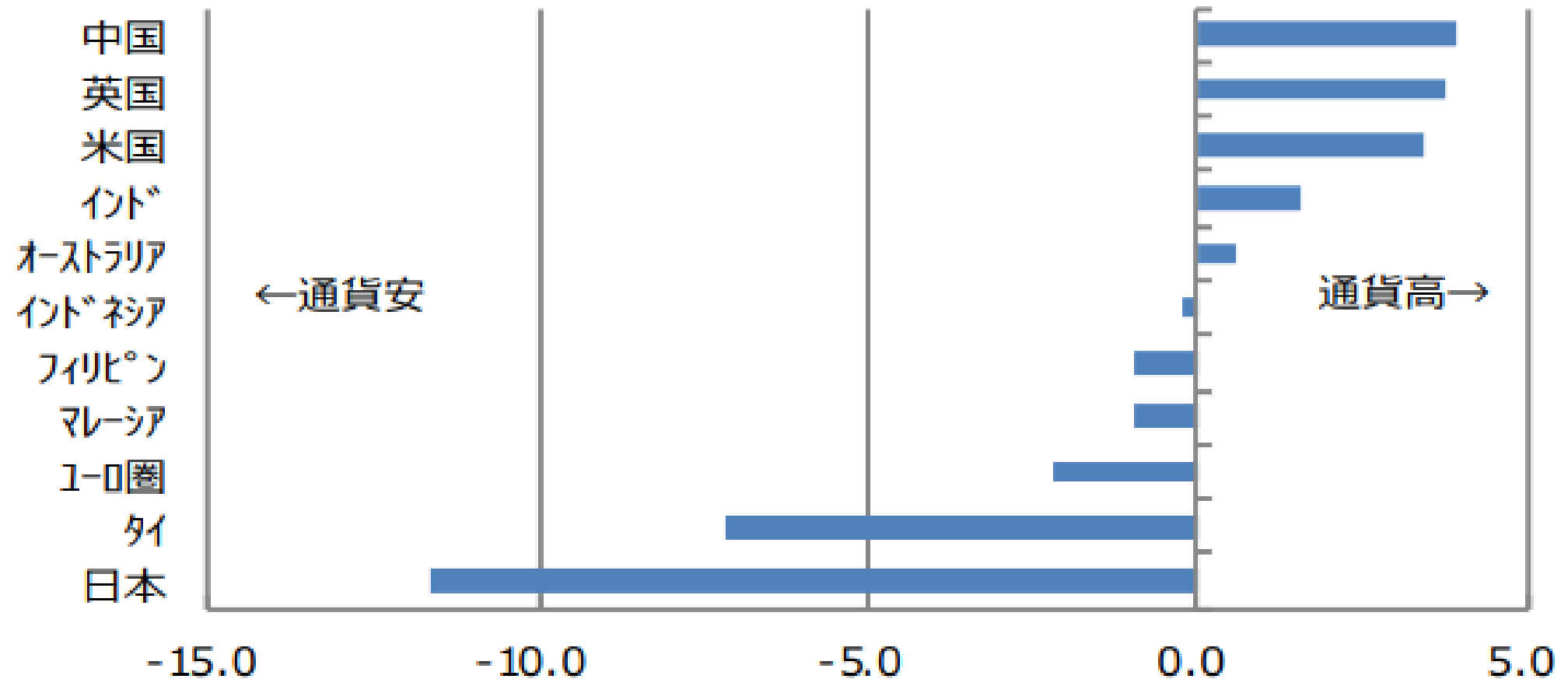
- 日本円の実質価値が低下
- 50年前のオイルショック当時（1972年1973年）に近似

⇒円安進行（輸入品価格上昇）  
物価低迷（価格転嫁）  
**家計への影響（悪いインフレ）**



【図解】 円の実質実効為替レート推移

【図表2：主要通貨の実質実効為替レート変化率】



# 円ドル市場レート <http://www.federalreserve.gov/releases/H10/hist>



# 実質実効為替レート

○主要通貨と日本円の為替レート、例えばドル/円、ユーロ/円、ポンド/円などの特定の2通貨間の市場為替レートとは異なる、相対的な通貨の実力を測るための総合的な指標

○具体的には、日本円と、調査対象となる全通貨との2通貨間為替レートについて、

①貿易額などで計った相対的な重要度でウエイト付けし、加えて②それぞれの物価変動・インフレ分を調整して集計・算出したもの。

# 類似の指標：ビッグマック指数

○購買力平価の一つ。

○世界のマクドナルドが販売しているビッグマックの価格で各国の購買力を比較し、算出した購買力平価。

『エコノミスト (The Economist)』が発表したものが起源

○2019年7月時点

高い順スイス(6.54米ドル)・アメリカ(5.74米ドル)・スウェーデン(5.38米ドル)、カナダ(5.16米ドル)

日本の価格は、3.59ドル

分析 1 1970年～1995年上昇の要因  
(1970年代後半)

日本の貿易黒字の大幅な拡大  
(1985年9月)

プラザ合意によるドル高是正  
(1990年代前半)

日米貿易摩擦問題の深刻化など  
⇒ 対主要通貨：実力以上の高い評価が続く



## 分析 2. 1995年～2022年下落が続く

(1995年以降)

国内要因の寄与大

バブル崩壊後、国内の景気低迷とデフレ長期化

(2013年以降)

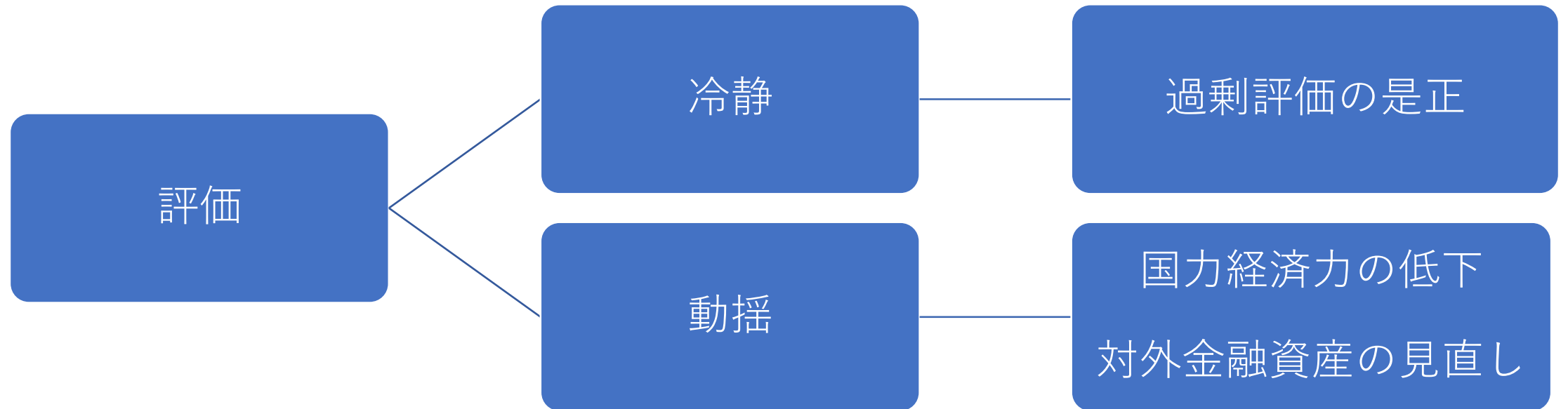
ゼロ金利政策（過剰流動性・アベノミックス）

マイナス成長

輸出力の低下（自動車、IT等）

⇒ 過剰評価の修正、実質実効為替レートの下落

# 評価

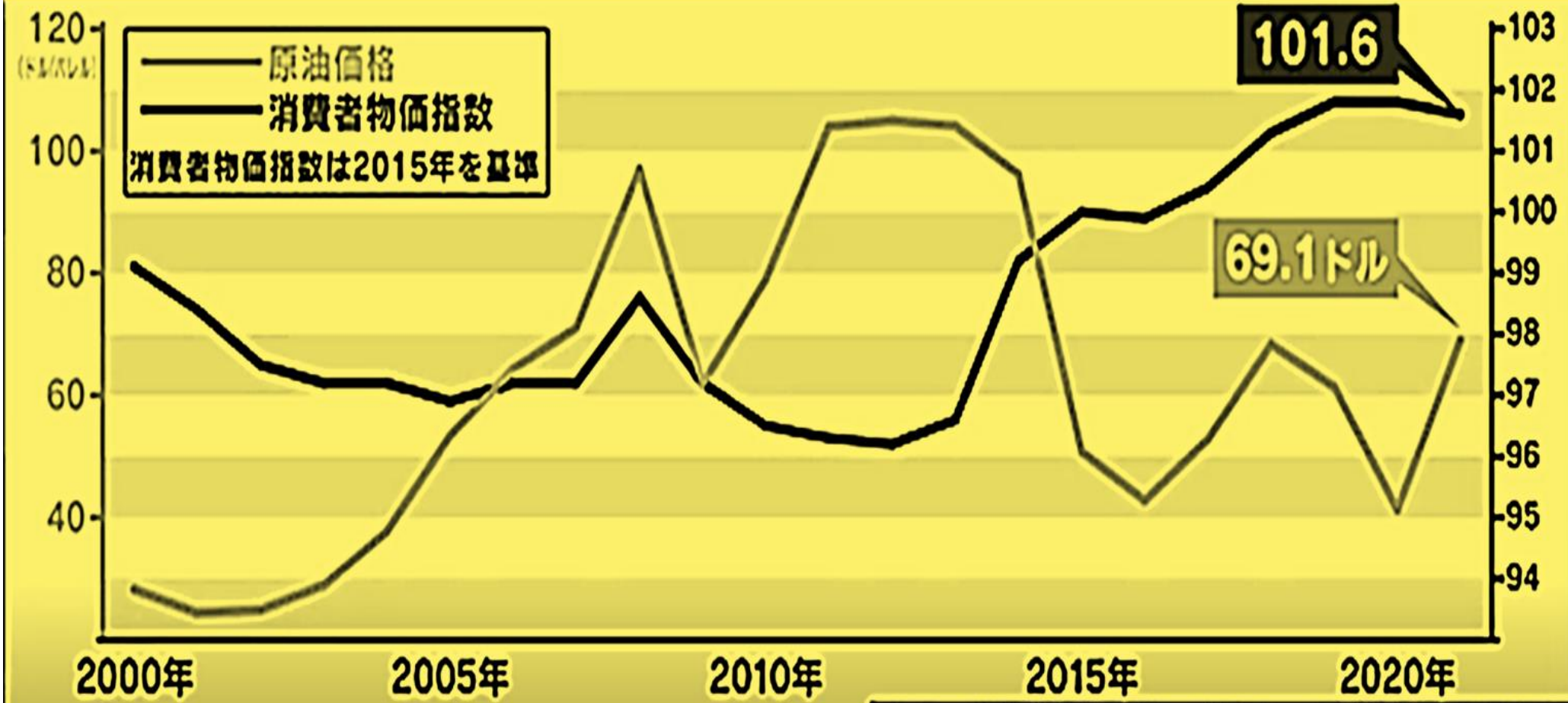


## 日銀・黒田 総裁の発言(18日)



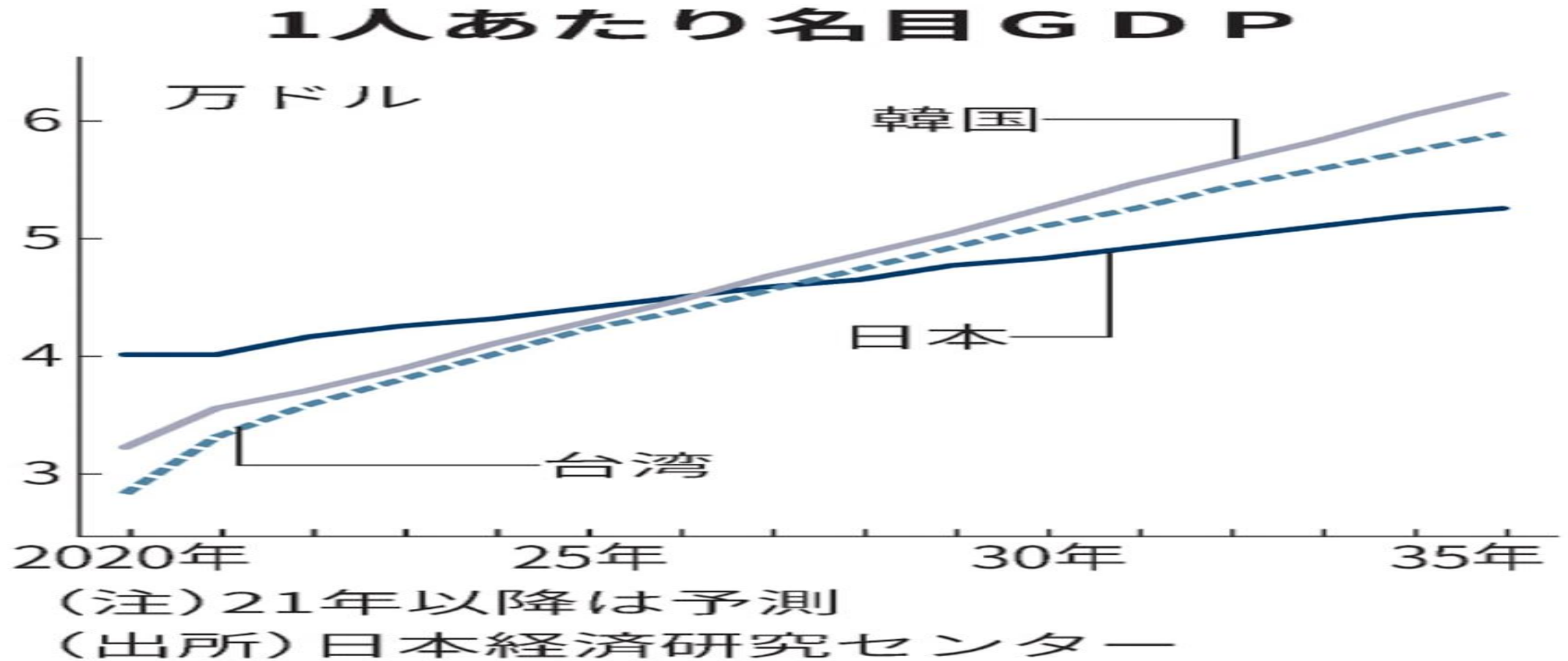
為替円安が全体として経済と物価を  
ともに押し上げて、わが国経済にプラスの影響  
プラスに作用しているという基本的な構図。  
従って悪い円安というのは考えていない。

# 物価推移と原油高

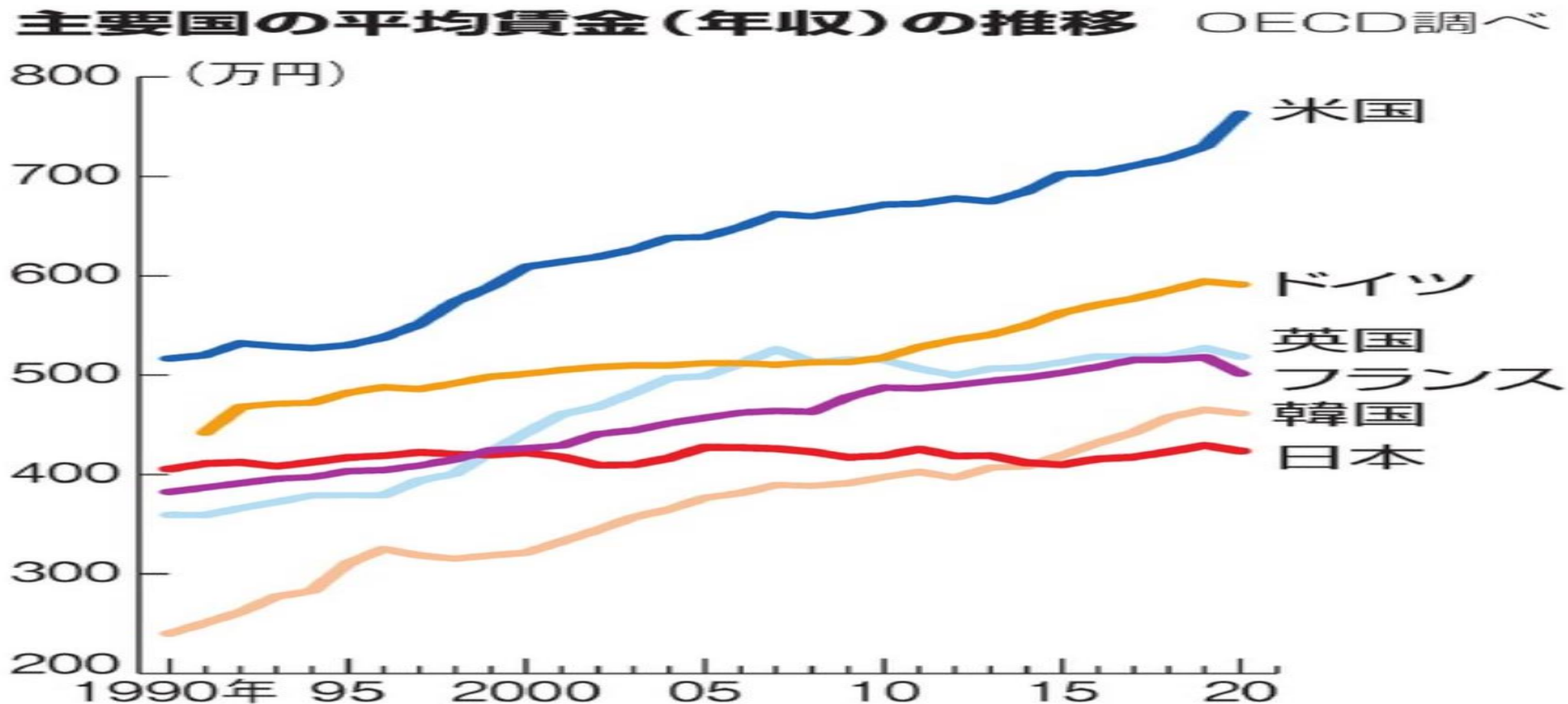


出典：消費者物価指数＝総務省 原油価格＝世界銀行

# 1人当たりGDP、2027年に日韓逆転 日経センター予測: 日本経済新聞



# www.asahi.com 韓国に抜かれた日本の平均賃金 上がらぬ理由



# 円安政策の効果

## 企業

- 輸出入で相殺のはずが形式上企業利益の増加（見せかけ）
- 原材料費の高騰は、商品に転嫁⇒流通段階で調整⇒小売りでは競争で困難
- 賃金上昇を先送り

## 産業

- 自動車の輸出があるのみ  
先行き不透明  
電気自動車産業構造の変化  
AI化  
裾野縮小労働市場の縮小
- 輸出は、GDPの15%  
内需国・輸出大国ではない



# 為替制度（固定から変動へ）

## ◎ブレトン・ウッズ体制

1944年金本位制と通貨の固定相場制（金本位）を確立

## ◎スミソニアン体制

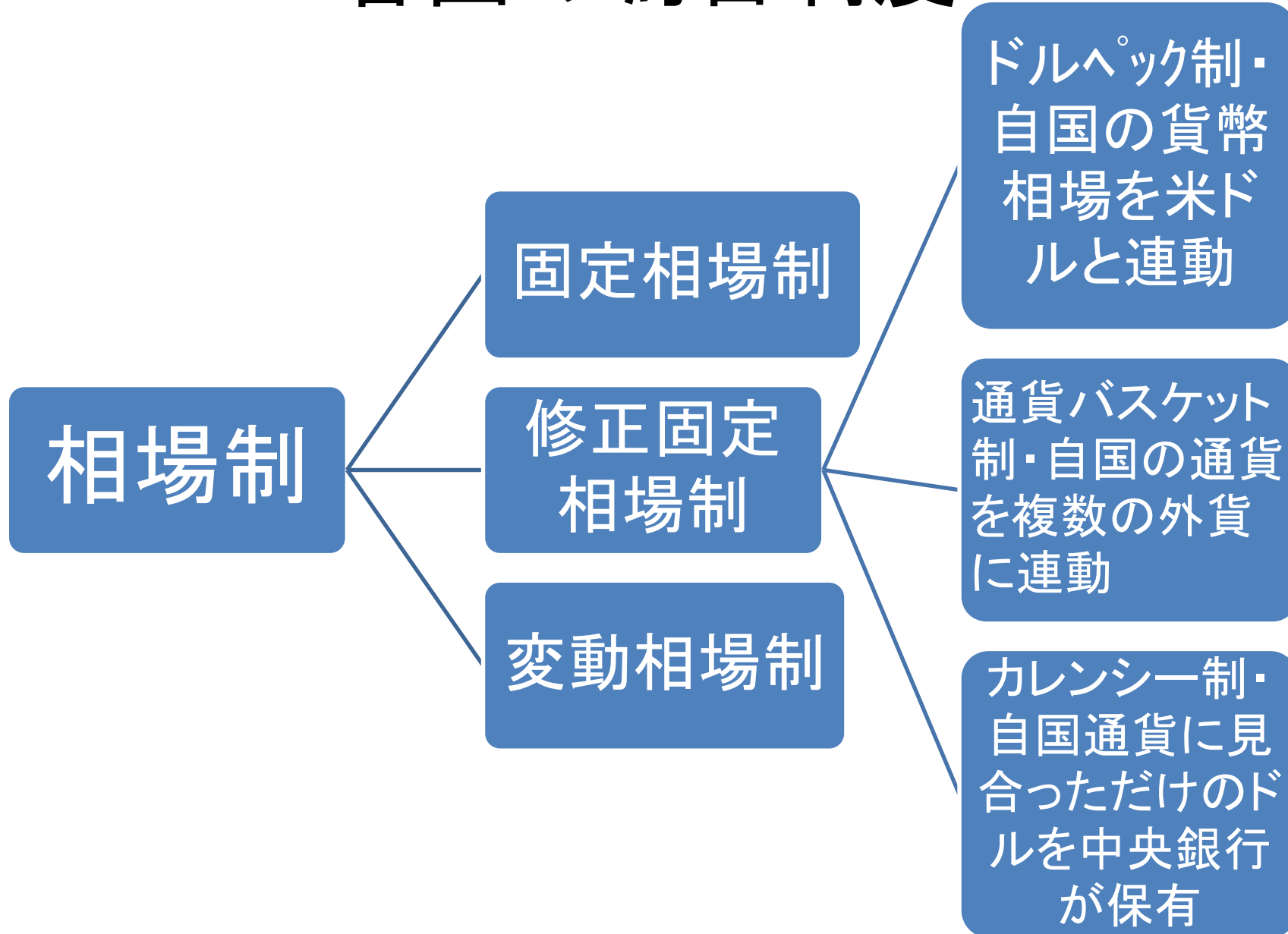
1971年アメリカは一方的にドルの金への兌換を停止（金本位制の実質的終結・ニクソン・ショック）  
先進各国は変動相場制に切替

## ◎プラザ合意

1985年G5による為替レート安定化に関する合意

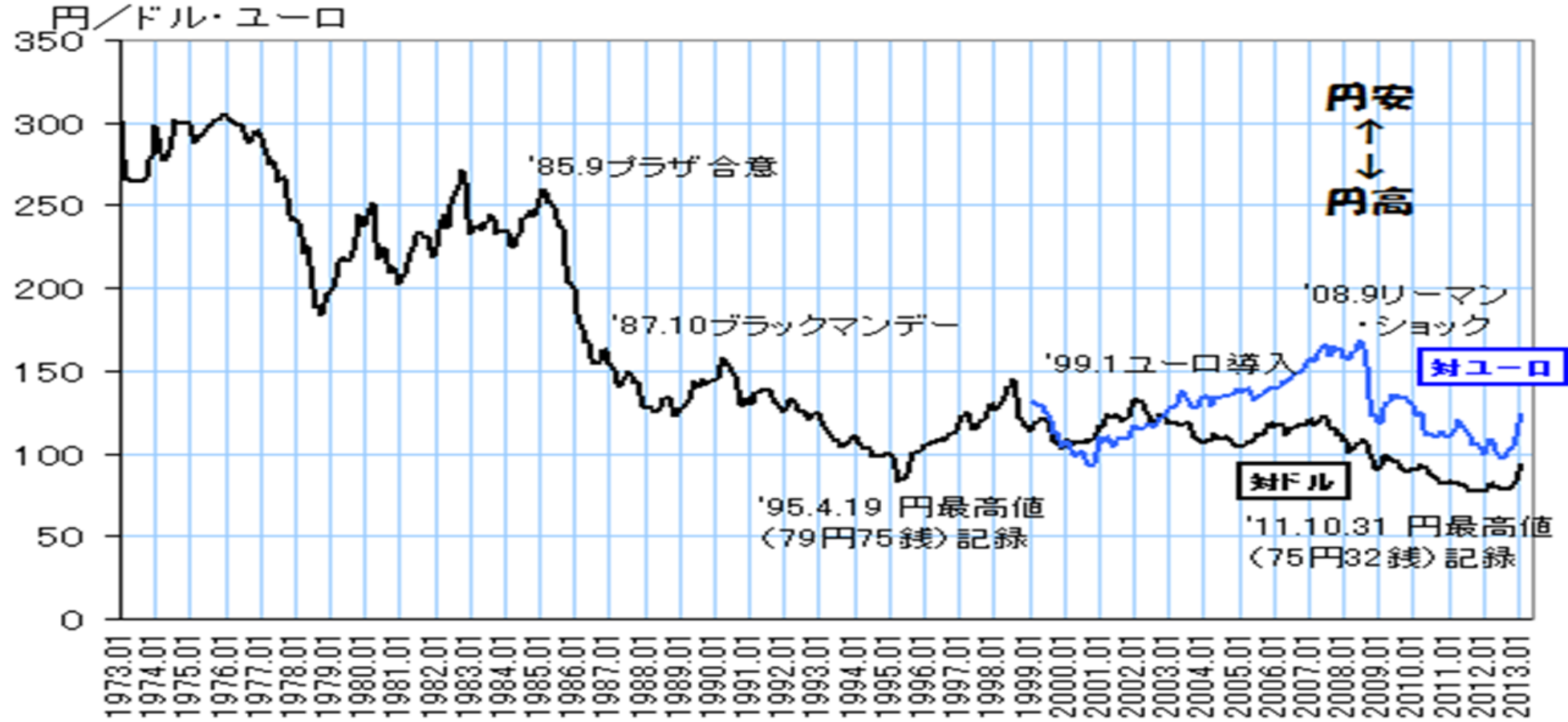


# 各国の為替制度



# 為替の長期トレンド

(参考) 円の対ドル・対ユーロ為替レートの長期推移(1973年以降)



(注)(資料)同上

# 円高のメリット

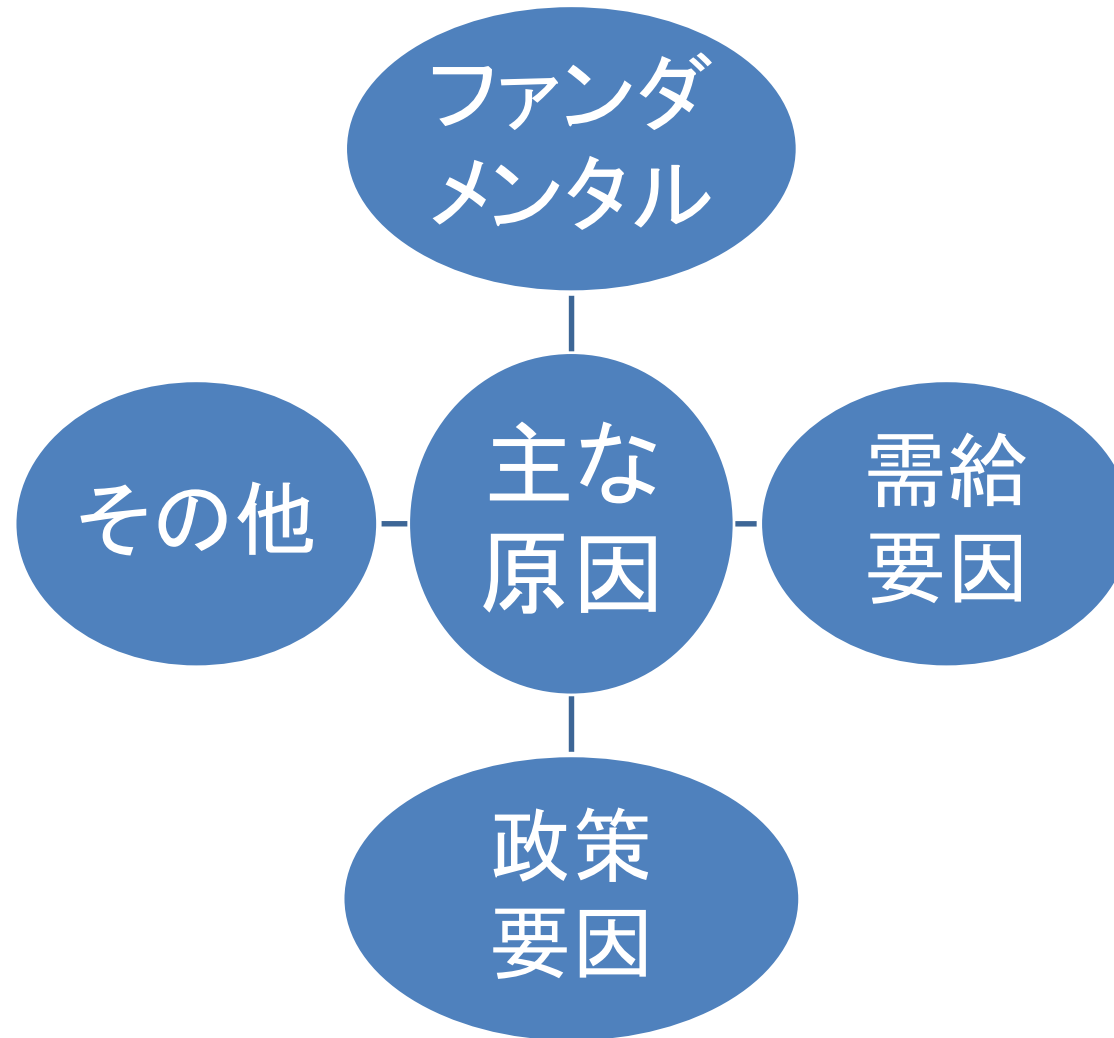
## (円の実質価値の増加)

- 輸入品が安く買える
- 海外旅行が安くなる
- 原油の仕入れコストが下がる
- 輸入企業の原材料コストが低下する
- 海外の企業が安く買収できる

# 円高のデメリット(円の実質価値の減少)

- 輸出産業にとってマイナス
- 外国人旅行客が減る
- デフレに拍車がかかる
- 外貨預金が目減りする
- 外貨建債が不利になる

# 為替レート変動の要因



# 為替レートの主な変動要因

主な変動要因	← 円高要因	→ 円安要因
経済成長性 (例) GDPの伸び率	日本の成長性が高いとき	米国の成長性が高いとき
国家財政の健全性 (例) 税収と歳出のバランス状況	日本の改善・米国の悪化	日本の悪化・米国の改善
経済収支 (例) モノ・サービスの移転に伴う収支	日本の黒字拡大・米国の赤字拡大	日本の黒字縮小・米国の赤字縮小
金利 (例) 国債などの表面上の金利	日本の上昇	米国の上昇
政府の市場介入	ドル売り・円買い	円売り・ドル買い
有事 (例) 戦争や地域紛争、災害など	日本に有利・米国に不利	日本に不利・米国に有利

# ブローカー（外為仲介業者）

- ◎ インターバンクの取引を仲介する専門会社
- ◎ 機能 ブローカーには各銀行から売買注文が集まり、売買の仲介・取引の成立
- ◎ 電子ブローキングの発達により3社に統合
  - ① トウキョウフォレックス上田ハーロー  
外為ブローカーの業界最大手
  - ② メイタン・トラディション  
トラディショングループ（スイス）の日本法人
  - ③ 山根タレットプレボン  
セントラル短資グループ

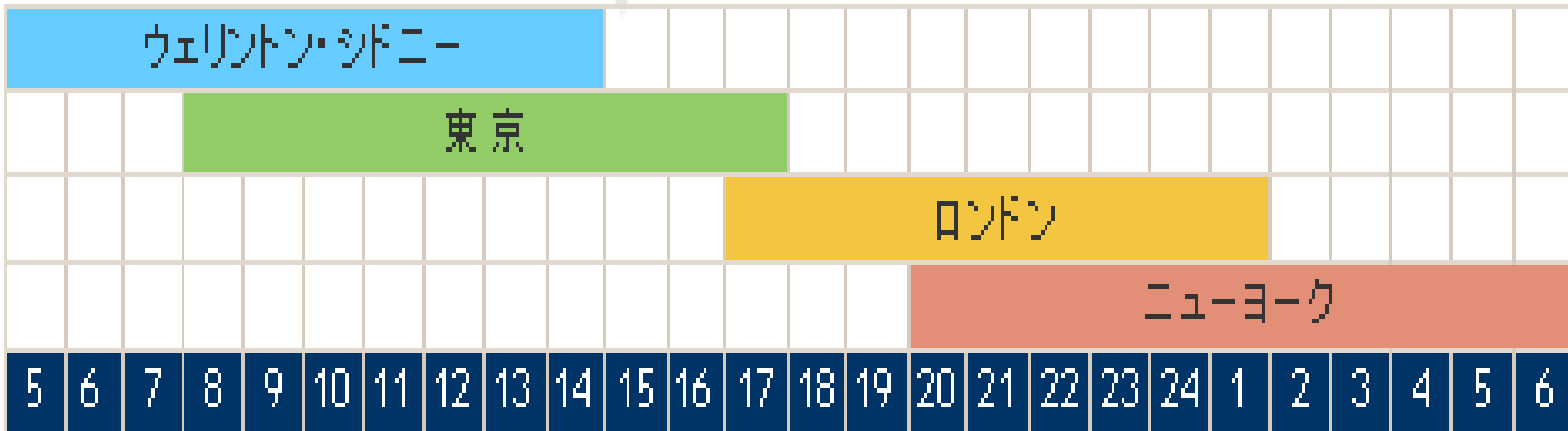
# 為替ディーラー(かつては紙、今はボタン)







# 外国為替の取引は 24時間世界各国で行われています



# 外国為替取引が行われる理由

## 実需

- 海外旅行
- 海外送金
- 輸出入等の決済
- M&A
- 外債・外国株式の購入

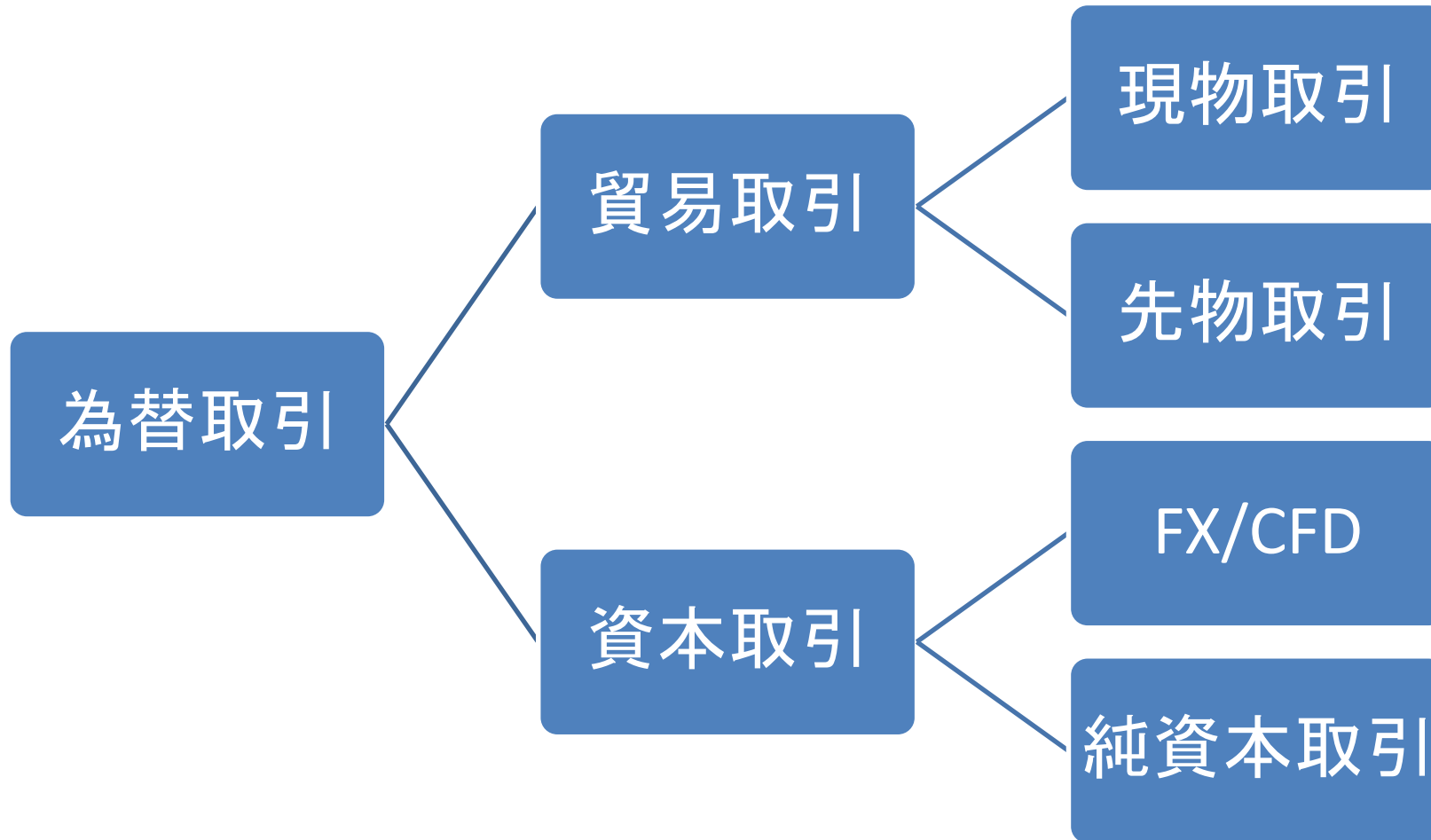
## リスクテイク

- 外貨貯金・外国為替証拠金取引等での  
売買益狙い
- 投機

## リスクヘッジ

- 将来、手に入れる外貨の価値確定
- 外貨資産を為替変動から守るため

# 國際收支



# FX (Foreign eXchange)

◎FXとは、

- ①主にドルや円やユーロ等の通貨同士の取引に
- ②証拠金(保証金)を用い
- ③差金決済による通貨の売買を行なう取引

現在、証拠金25倍の取引ができる。

もともと、公序良俗違反として無効とされた賭博行為であるが、法律で認定

# ミセス・ワタナベ (Mrs. Watanabe ) キモノ・トレーダー (Kimono Trader)

- ◎個人の小口外国為替証拠金取引 (FX) 投資家を意味する俗称
- ◎語源は日本人の主婦を中心とした女性やサラリーマン投資家
- ◎欧米の報道機関により名付けられた。

## ◎ **実際の人物は、池辺雪子さん・池坊の師範**

**FXで資産を8億円まで増やし、2007年春に4億円を脱税したとして起訴された(「4億円脱税主婦」)。懲役1年6月、罰金は4200万、執行猶予3年の刑**

- ◎個人投資家の間のみならず世間的にもFXのカリスマ主婦として有名人となった。

# 池辺雪子さん(80代?)公式サイトあり



# ミセスワタナベ狩り

2007年頃から、為替相場の方向性が、昼をはさんで午後になると、相場を反転させる大きな要因はないにもかかわらず反対方向（主にドル買い）へ振れる現象がしばしば見られた。←ミセスワタナベの動き

現在では、マーケットを動かす大きな力として認識され、大口のプロディーラーでさえ、その動向があなどれない存在になっている。しかし、最近では、「かも」とも言われている。

相場の取引が薄くなり少ない注文でドルが下落する（円高になる）時間帯を狙い、ストップロスを狙う動きを「ミセスワタナベ狩り」という。